



成人の誓いを述べる新成人代表

新成人の皆さん、おめでとうございます！

1月13日、彩の国くまがやドーム体育館で、平成31年熊谷市成人式が行われ、1,465人の新成人が出席しました。



さくらめいと出張所を開設しました

1月4日、熊谷文化創造館さくらめいと敷地内に開設しました。土曜日業務を行い、定休日は、火曜日（祝日の場合は翌日）、日曜日、祝日です。なお、市内10か所の出張所は廃止となりました。



～作家・森村誠一が選ぶ～第7回くまがや「写真俳句」コンテスト表彰式

12月16日、市立文化センターで行われ、特選5人、入選20人が表彰されました。作品は、北海道から鹿児島まで1,005句の応募がありました。



優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました

12月18日、PTA活動に優秀な実績を上げているとして、優良PTA文部科学大臣表彰を受賞した江南中学校PTAの皆さんが、市長を訪問しました。



子どもたちに良い本を！

12月5日、市立文化センターで、熊谷市子ども読書活動推進交流会が開催されました。子ども読書の必読書『読む力は生きる力』の著者、脇明子氏の講演で子どもと読書の大切さについて学びました。



妻沼聖天山歓喜院聖天堂を火災から守る！

12月9日、国宝妻沼聖天山歓喜院聖天堂で、熊谷消防署、妻沼消防署および管轄する妻沼分団により、消防車3台からホースを延長し、実際に放水しての火災防御訓練が行われました。



5年ぶりの熊谷場所

12月20日、彩の国くまがやドーム体育館で、大相撲熊谷場所が開催されました。生で見る力士の迫力に観客は大喜びでした。



お見事!! 鷹職人の技に歓声 湧き上がりました。

1月6日、出初め式で高城神社をはじめ、市内14か所で梯子乗りが披露されました。演技はどれもドキドキするような妙技ばかりでした。訪れた方はその妙技を見て、「初めて見に来たけれど、とってもよかったわ」と大喜びでした。

d design travel WORKSHOP KUMAGAYA ⑧

埼玉県熊谷市の観光を、デザインの視点で考えます。

平成30年6月の市報と共に配布された『ディ・デザイントラベル ワークショップ 熊谷』号をご覧いただけたらうか?お手元にはない方は、熊谷市観光協会にお問い合わせいただきたい。その土地の昔からある「個性」・「らしさ」を東京在住の編集部が「よそ者目線」で探し出し一冊にまとめていく新しいタイプの観光ガイド『d design travel』。その「埼玉県号」の完成を機に「熊谷らしさ」をテーマに、24人の市民ライターが市民編集部となり書き上げた一冊だ。普段あまり考えることのなかった自分たちの場所「熊谷らしさ」は、これからの発展に欠かせない視点だ。

今回は「その土地らしい宿」として、取り上げられた2つを紹介させていただきたい。「くまびあ」「ホテル・ヘリテイジ」。ぜひ、熊谷号を手に取りどのように紹介されたか読んでみてほしい。ただ、残念ながら本来4つの宿が選定されるはずが、2つしか「熊谷らしい宿」として選定されなかった。そこで、市民ライター、観光協会、キーマンを中心に、「熊谷らしい、埼玉らしい宿」をつくる計画が進行している。場所は、荒川沿いの大里地区(手島)だ。「農からはじまる暮らし推進協議会」という名の熊谷市を始めとする地域推進協議会を立ち上げ、2019年の春にオープン予定。古民家を改装し、宿、カフェ、コワーキングスペース、アーティストレジデンス、ワークショップ、マーケット、事務所機能など様々な用途を想定している実験的な場だ。『Greater KUMAGAYA Organic Fes』にて、市民宣言により「スタートアップオーガニック宣言」が発せられた熊谷市。オーガニックとは、食だけにとどまらず、有機的なつながりを意味する。もうひとつ、フェスのテーマであったHOMEGROWN(ホームグロウン)は、「地元愛を育む」。イベントがイベントで終わらないためにも、この場所で、日常に根差した活動を行いたい。ローカルを極め、グローバルにつながる。地元から始まり、世界とつながるための場所だ。本格的に始まった人口減少社会の中で、市民全員の力で熊谷の未来をつくろう。

◎今回の市民ライターの取組は埼玉新聞でも隔週で連載されています。



くまびあ



ホテル・ヘリテイジ

◆(一社)熊谷市観光協会 ☎048-594-6677
(熊谷号を希望される方はご連絡ください。)



平成30年度優良農家・第14回産業祭農産物共進会表彰式

12月18日、めぬま農業研修センターで行われ、優良農家3人・1団体、産業祭農産物共進会1等賞受賞者28人が表彰されました。



愛隣保育園御下賜金伝達式

12月20日、設立以来80年にわたり埼玉県の児童福祉の推進における長年の貢献が認められ、愛隣保育園に天皇陛下から金一封が下賜されることになり、県庁で伝達式が行われました。

読んで当てよう!! 市報クイズ

今月の問題

〇〇に入る言葉をお答えください。

平成31年度 〇〇市民大学 学生募集

アンケート

- Q1 今月号市報の感想をお書きください。
- Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。
- Q3 ラグビーに関する質問があればお書きください。

応募方法

ハガキまたはEメールに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題とアンケートの回答を記入し、2月21日(木)までにご応募ください(一人につき一通)。

※回答がないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601

宮町二丁目47番地1 熊谷市広聴課

☐kohokocho[アットマーク]city.kumagaya.lg.jp

※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

今月のプレゼント

COFFEE TRIPS(コーヒートリップス)の「本日のコーヒー」を、10名様にご提供します!



【店舗情報】

COFFEE TRIPS(コーヒートリップス)
所在地: 拾六間130-8
定休日: 第2・3月曜日/火曜日
営業時間: 8:00~18:00
電話: 048-514-7119

12月号の正解

先どうぞ

◆応募総数104通中、正解103通

※市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは広聴課内線206まで。

情熱世代

夢追い人

「諦めなかったから、今の自分がある」

北川 翔さん(富士見中出身)
陸上競技 2017年ユニバーシアード台北大会
4×100mリレー 金メダル



順風満帆ではなかった
競技生活

現在大学院の1年で、陸上競技の短距離を専門にしています。大学4年の時に、ユニバーシアード競技大会で金メダルを獲得することができましたが、これまで順調な競技生活ではありませんでした。何度か伸び悩んだ時期があ

り、そんな時支えとなったのが、母の言葉でした。両親はそれぞれ実績のある陸上選手でしたが、なかなか成績が上がらず悩んでいた中学2年の時、母に「やめたい」と相談しました。すると母が「高校2年で記録が伸びて、大学3年で結果が出るだろうから、もう少し頑張ってみたら」と言うのです。この時はちょうど成長期で体が大きくなってきたら、中学3年になつてぐつと走るのが速くなり、それを両親に褒めてもらえたので、陸上競技を続けることにしました。

母の言ったことが、
そのとおりに！

その後、高校、大学と競技を続ける中で、母の言葉どおりのことが起こつたんです。高校2年のときは、仲間に負けないよう全力で練習していたら、記録がどんどん伸びました。また、大学4年のときは(母の言葉とは1年ずれましたが)大学ラストシーズンを悔いなく終えたかったため、けがの防止や食事の管理などの自己管理をしっかりやるようになり、記録が向上しました。私が中学生の段階で、ここ



競技中の北川さん

学業との両立と
将来の目標

先ほど自己管理の話をしました。現在の大学院でも、自分の競技力向上につながるような練習方法等について研究しています。陸上競技と学業をうまく両立できているのではないかと思います。今後、更に実績を積み、競技に専念できる実業団で陸上競技を続けることが目標です。その後は教員になって、競技の指導ができればいいなと考えています。

私は、諦めずに努力を続けたおかげで、よい結果を出せたのだと思います。壁にぶつかって悩んでいる若い人には、スポーツに限らずどんな分野でも、好きなことは諦めずに続けていけば、いつか報われると伝えたいです。

元トップリーガー木川 隼吾のラグビーオモシロ話

最終回「One for all! All for one!!」

ラグビーには「One for all. All for one」という有名な言葉があります。今回は、この言葉のお話をしたいと思います。

ラグビーの得点方法に「トライ」があります。出場している選手は、誰でもトライを決めるチャンスがあり、高得点の5点が加算されます。私はトップリーグ在籍時に100試合以上の公式戦に出場しましたが通算トライ数は「1」でした。一方で、同じく100試合以上の出場でも100トライ以上記録した同期のチームメイトもいました。数字だけ見ると私は全く活躍していないように見えますが、ラグビーでは味方がトライを決めるための自己犠牲プレーが多くあり、それが高く評価されます。正に「One for all」の精神であり、そのおかげで通算1トライの私も多くの試合に出場することができました。

また、私が唯一トライをした試合は、非常に希少だっ

たこともあり、仲間がお祭り騒ぎのような状態で祝福してくれました。これも「All for one」の素晴らしいラグビー精神だと思います。

そして、「ラグビーオモシロ話」も今回で最終回を迎えます。このコーナーを通して、ラグビーを少しでも身近に感じていただけたのなら大変光栄です。

最後に、今年はラグビーワールドカップ2019™日本大会が開催されます。その試合が行われる熊谷ラグビー場は素晴らしい会場に生まれ変わりました。皆様もぜひ、大会と一緒に盛り上げていただき、一生に一度と言われるラグビーワールドカップ2019™日本大会を楽しんでいただければ幸いです。

◆ラグビーワールドカップ2019推進室 ☎内線341

今までお付き合いいただき、本当にありがとうございました。



木川 隼吾

人口と世帯

平成31年1月1日現在(対前月比)

■人口 197,731人(-13) 男 98,859人(+46) 女 98,872人(-59) ■世帯 86,453(+82)

「市報くまがや」2月号は、73,800部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり16円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。